

文化が尊重される社会の実現をめざして～札幌市民として

1年 社会科 歴史的分野

I 実践の目指しているもの

本校では今年度、総合的な学習の時間においてアイヌ文化をテーマに個人調査学習を行った。その中で生徒たちはアイヌ民族の歴史や文化についての概要を学習し、それぞれの関心に基づいて個人テーマを設定し、文化形成の歴史や衣食住などアイヌ文化についての理解を深めてきた。しかし、自分たちとは異なる民族への関心が高まる一方、同じ土地に暮らす者として文化を尊重していくという意識には到達していない生徒も多いと感じる。そこでまず、総合的な学習の時間での既習事項と結び付けながら室町時代の交易の学習を行い、本時では個人調査学習で迫ることのできなかった札幌市民としての文化理解に触れたいと考えた。本時を通し、生徒たちが文化継承を自分事として捉え、札幌市の取組について興味・関心をもち、主体的に地域社会に参画する態度を育てたいと考えている。また、本時の学習は歴史的分野においてはこのあと学習する「アイヌの人々への差別」の歴史、公民的分野においては終章の課題探究的な学習における「ふるさと札幌の学び」の学習にもつなげていく予定である。

II 研究の内容

1 題材名（単元名）

第3部 武家政権の成長と東アジア

第2章 武家政権の内と外 4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易

2 題材の目標（単元の目標）

- ・ アイヌの人々と和人との間の歴史的背景や、アイヌ文化が失われつつある現状を知る。
- ・ 現在札幌市で行われているアイヌ文化普及に関する取組を通して、アイヌの人々との関わりの深い札幌に住む者として異なる文化を認め共生していくことの大切さを理解する。

3 単元の構成（5時間扱い）

	単元名	課題	目標
1	海をこえて せまる元軍	元寇は鎌倉幕府にどのような影響を与えたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元寇に関わる歴史の流れを捉える。 ・ 元寇前後の変化から、元寇が幕府に与えた影響を考察する。
2	後醍醐天皇 の挑戦と新 たな幕府	南北朝の動乱によって武家社会はどのように変化したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室町幕府が成立するまでの流れと、武家社会の変化の様子を捉える。 ・ 建武の新政が上手くいかなかった理由を考察する。
3	東アジアの 新体制と倭 寇	室町幕府の仕組みについて調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉幕府と室町幕府の仕組みを比較し、特徴を捉える。 ・ 明との貿易の特徴について理解する。
4	琉球とアイ ヌの人々が つなぐ交易	室町幕府はアジアの国々とどのような関係を結んだか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明、朝鮮、琉球、アイヌの人々との交易について地図上にまとめ、理解する。 ・ アイヌの人々については既習事項と結び付け、交易民族としての特徴を捉える。
5 本 時	現在のアイ ヌ文化普及 の取組	なぜ札幌市はアイヌ文化普及の取組に、市民の理解を求めているのだろうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 札幌市が行うアイヌ文化施策を通して、アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現における市民理解の重要性に気づき、札幌市民として文化普及・継承への関心をもつ。

Ⅲ 本時について

(1) 本時の目標

札幌市が行うアイヌ文化施策を通して、アイヌ民族の誇りが尊重される社会の実現における市民理解の重要性に気づき、札幌市民として文化普及・継承への関心をもつ。(関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開 (5/5)

	生徒の活動	教師の活動
課題の把握 (10分)	<p>◆札幌市が行うアイヌ文化普及の取組を知る。 →札幌駅のイランカラプテ像 →地下歩行空間のタペストリー展示</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">アイヌ文化普及の活動が札幌駅で行われているのはなぜだろう？</p> <p>◆予想</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる場所だから、多くの人の目にとまる。 ・札幌の人だけでなく、札幌に来る人にもアイヌ文化を広めることができる。 </div> <p><札幌市アイヌ施策推進計画> 目的：アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現 施策目標：①市民理解の推進 ②伝統文化の保存・継承・振興 ③生活関連施策の推進</p>	<p>◇イランカラプテ・キャンペーンについて説明する。 →マークの提示・概要説明</p> <p>◇札幌市がアイヌ施策において特に市民理解の促進を目標に掲げていることを説明する。</p>
展開 (話し合い・発表 20分 / 説明 10分)	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中心課題：なぜ札幌市はアイヌ文化継承の活動に、市民の理解を求めているのだろうか？</p> <p>◆個人で理由を考える。 ◆班ごとに意見をまとめ、発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ文化は自分たちが暮らす北海道の文化だから。 ・アイヌ文化が失われてきているから。 ・アイヌの人々の歴史や文化についての理解が足りないから。 ・差別をなくさなければならないから。 ・市の活動として資金を使うことになるから。 </div> <p>◆札幌市が掲げる“アイヌ民族の誇りが尊重されるまち”について考えを深める。 →今は尊重されていないのか？ →アイヌ民族の誇りとは何か？ →尊重するとはどのようなことか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>札幌市がアイヌ文化普及の活動に、市民の理解を求めているのは、アイヌの人々の誇り（アイヌ文化、歴史、偉人たちなど）が大切にされる社会を目指しているからである。</p> </div>	<p>◇ワークシートを配布する。</p> <p>◇アイヌ語の現状や歴史について既習事項を確認する。</p> <p>◇札幌市アイヌ施策推進計画の施策目標①の内容を説明する。</p> <p>◇アイヌ生活実態調査(H25)のアンケート結果を提示する。 →「アイヌとして誇りに感じる点は何か」 「嫌だと感じる点は何か」</p> <p>◇札幌市が行っている取組を例示する。 →札幌地域イオル事業 →文化祭などのイベント開催 →“おもてなしの言葉”イランカラプテ・キャンペーン…観光資源として</p>
まとめ (10分)	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">札幌市のアイヌ文化継承の活動について、あなたは札幌市民としてどう思いますか。</p> <p>◆本時の内容を踏まえて記入する。 ◆発表する。</p>	<p>◇授業を通して考えたことを記入するように促す。</p>

IV 実践のポイント

【成 果】

今回の授業では、生徒の心情的な理解を深めることができたことが、生徒の変容につながったと考える。特に今回の授業で効果的だったのは、以下の4点である。

①生徒同士の話し合い活動

本授業では、生徒のアイヌ民族に関する新たな事実認識を生む「後半の展開部分」が最も重要となる。そこで、「前半の展開部分」に話し合いの場を設定し、それまでのアイヌ民族に関する事実認識を確認させた。これは、「後半の展開部分」において、アイヌ民族に対する心情的な理解がどのように深まったのか、その変容を生徒自身が実感する手だてとして効果的であった。

②生徒にとって難しい言葉「誇り」を説明する際の具体例

和食やオリンピックなどを例に、「日本人としての誇り」について考えさせることにより、アイヌ民族にとって、「誇りをもって生きる」ということはどういうことかを理解させることができた。

③実際に教師がアイヌ民族の方から伺った話

生徒の中には差別は過去のものであるという認識をもつ生徒もいる。そこで、アイヌ民族の方がアイヌであることを周囲に堂々と言えないなどの生の声を教師から語り伝えることで、生徒はそれまでの「アイヌ民族に対する浅い知見」に気付き、「市民の認識が十分ではない」という札幌市の現状を実感することができたと考えられる。

④「札幌市アイヌ施策推進計画」「アイヌ生活実態調査のデータ」「アイヌ文化の継承に係る札幌市の取組」について、パワーポイントを活用した資料提示

本時では、数多くの資料を提示したが、アイヌ文化の普及・継承に関心をもたせる情報量としては適切であり、生徒にとってポイントを捉えやすい資料を、パワーポイントを活用してテンポ良く提示できたことは、アイヌ民族に対する意識を喚起する上で効果的であった。

【課 題】

～授業を参観した先生方からいただいたご意見～

- ・導入部分で生徒の思考が十分に中心課題に近づくことができているかどうか。
→「アイヌ文化普及の活動が札幌駅で行われているのはなぜだろう？」という発問の際、「誰に見せたいのか？」をもう少し時間をかけて生徒に考えさせることで、より中心課題が生徒自身の問いに近づいたのではないかと。
- ・中心課題は適切であったか。
→札幌市の施策の目標を考えたとき、「アイヌ文化普及の活動」という表現が適切なのか。札幌市の施策の目標から、「伝統文化の保存・継承・振興の活動」という表現の方が良いのではないかと。
- ・話し合い活動の方法は適切であったか。
→予想を交流する話し合い活動にかけた時間をグループの人数等を工夫し短縮することで、より、後半の展開部分に時間をかけることができたのではないかと。
- ・展開で提示した資料の情報量は適切であったかどうか。
→何を授業の目的とするか、また、生徒の発達段階にもよる。授業の際に情報の提示の仕方や、情報量は十分に検討しておく必要がある。
- ・生徒がどのように変容したか。
→生徒の心情に迫ることができたか。具体的な人物に焦点をあてて、心情的により深く理解を図ることも可能だったのではないかと。